

小樽ビール

■物件名：小樽ビール

■住所：港町5-4

■電話：21-2323

■所有者：株式会社サウンドクルー小樽

■運営者：株式会社アレフ

■主任と人員：ヨハネス・ブラウン（醸造・販売ディレクター）、60人

■建物履歴

大正13年 小樽倉庫No.1として創建

平成11年 小樽ビール開館（小樽倉庫より賃貸）

平成20年 建物を株式会社サウンドクルー小樽が所有
小樽ビール開館（サウンドクルーより賃貸）

■外観

平成11年 屋根一部修理

■内観

①回廊／吹き抜けレストランの吹き抜けに回廊を設置

②床／土間に木材床整備

③仕込み窯／レストラン中央部にビールの仕込み窯を設置

④発酵タンク／第一次発酵タンクは蓋を開けて五感で管理する
独自のスタイルを用い、第二次発酵タンク（ラガービール）も同時に見学可能。

■内容

創業者庄司昭夫25歳、岩手県盛岡でハンバーガーレストラン「ドナルドダッグ」を開業。後にハンバーグレストランに移行。食材全てにおいて無農薬を徹底し、札幌に多店舗展開。同時に「びっくりドンキー」と改称。ドイツ研修において地ビール文化の多様性に驚き、ビールの醸造・販売・建築の第一人者ヨハネス・ブラウンを招聘し、小樽の水と出会い当物件に決断。ビールの熟成と倉庫の熟成に接点を見出す。

■コンセプト

「豊かさとは選べること」「ビールとは人と人を繋げる道具」と庄司語録を追求し、店舗設計や営業展開にヨハネス・ブラウンの指揮で徹底管理。

■客層

小樽・札幌30%、関東圏35%



外観



アプローチ



中央に仕込み窯を配置した店内

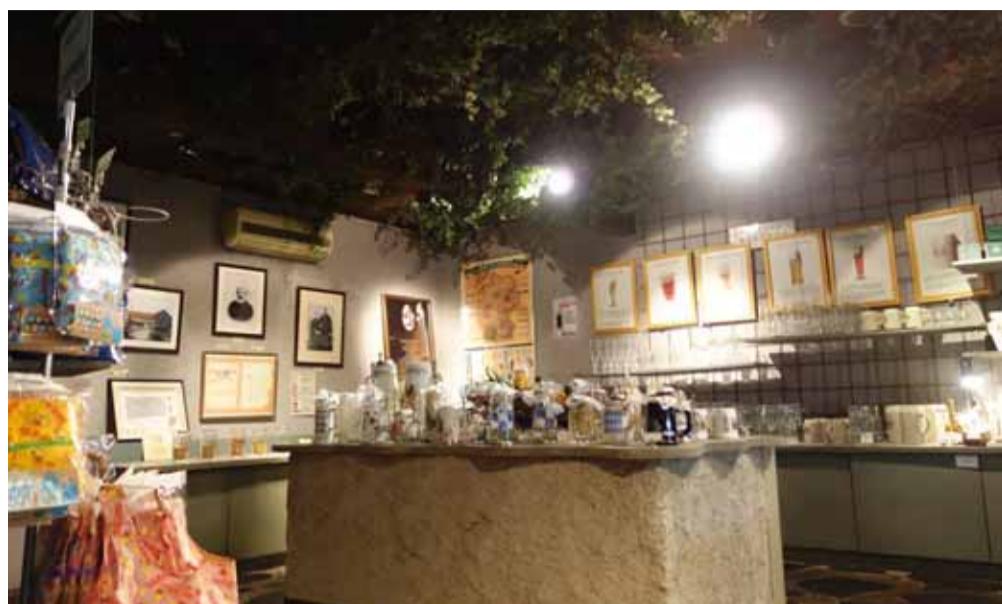


柱と梁を生かした堅牢な空間



第二次発酵タンク

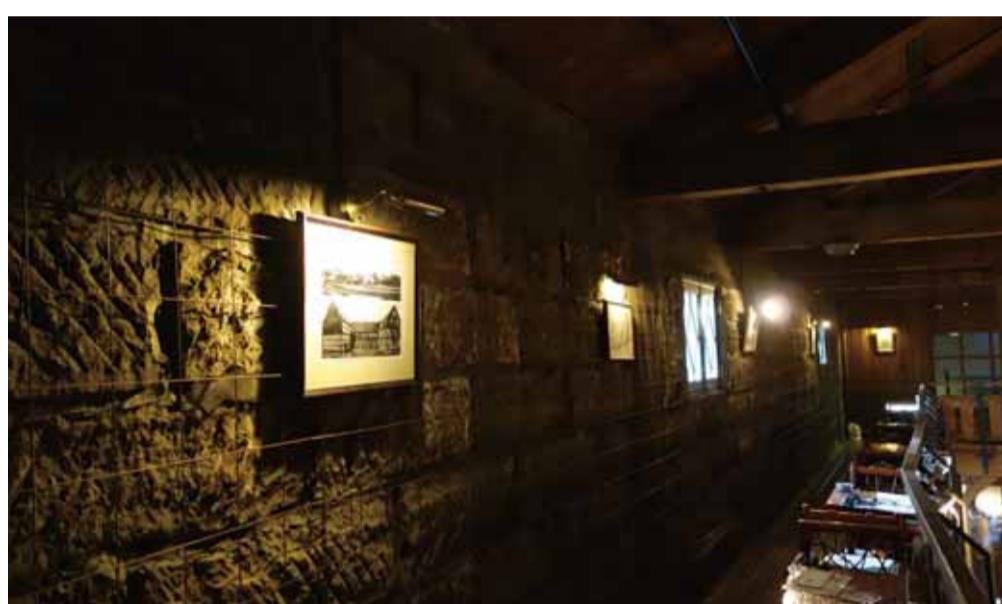
小樽ビール



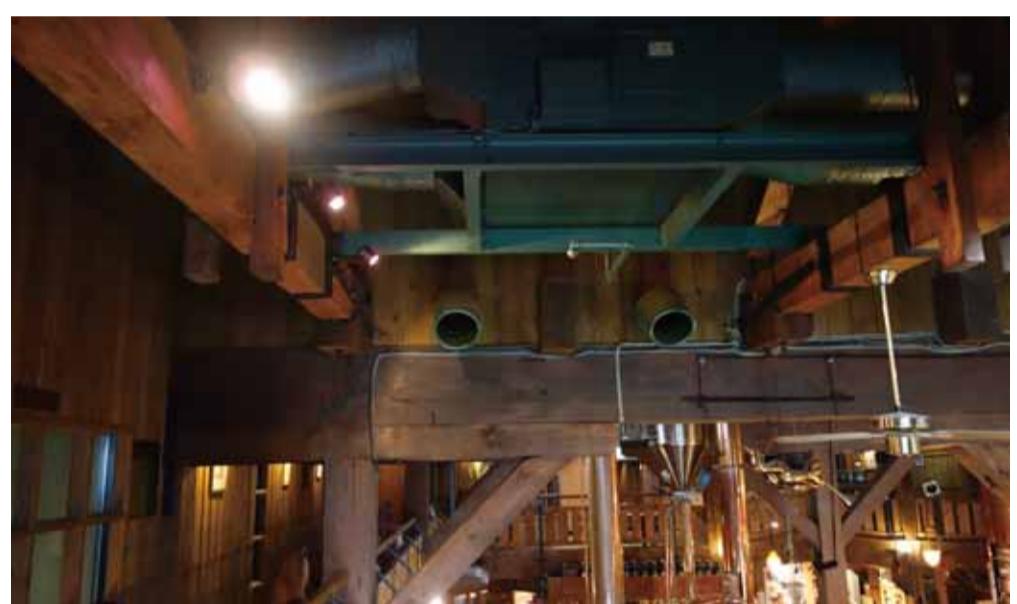
ビールミュージアム



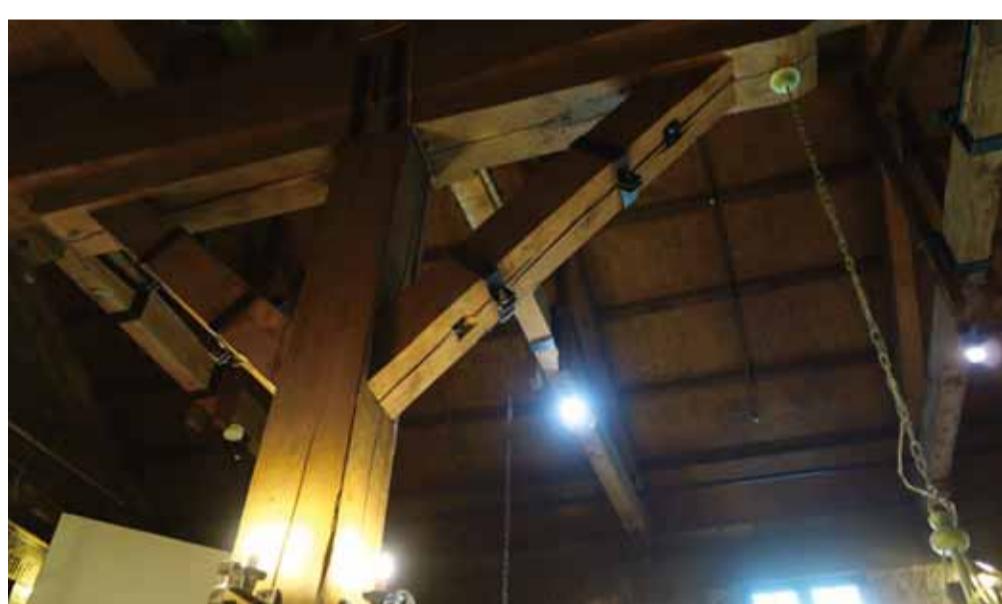
回廊が馴染む



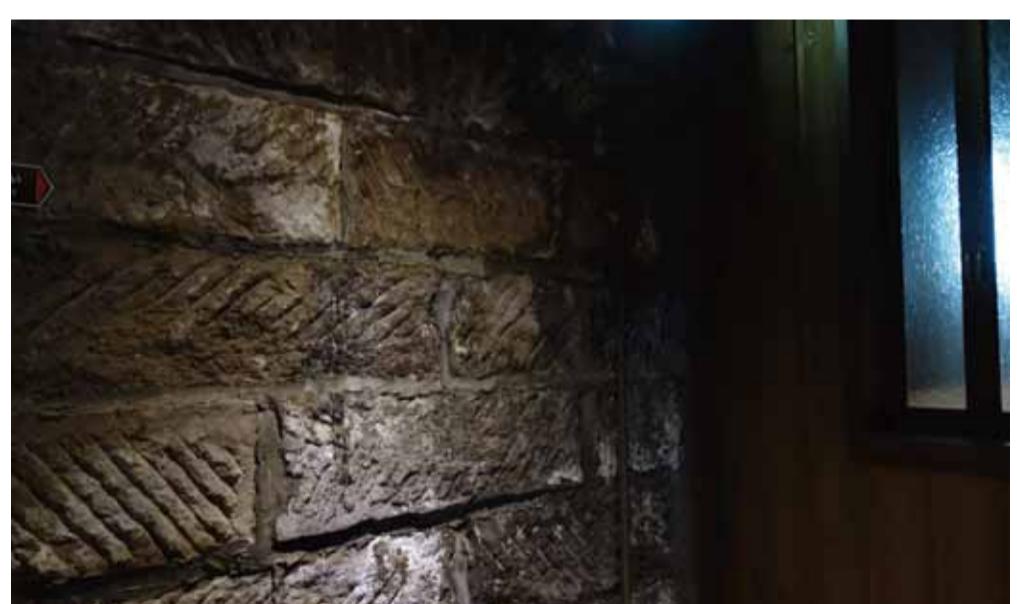
ファンタジーな回廊席



ダクトのワイルドさも似合う



補強の苦労がうかがえる



石壁を生かす



ヨハネス・ブラウン氏

